

第 20 回市民向け公開講演会

重粒子線がん治療の 実際と今後の可能性

講演会ガイド



日時/2024年12月15日(日)
場所/山形テルサ「テルサホール」

【共同主催】公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団、国立大学法人 山形大学

【共 催】株式会社 山形新聞社

【後 援】文部科学省、厚生労働省、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構、
公益財団法人 日本対がん協会、公益社団法人 日本放射線腫瘍学会、山形県、
山形県医師会、山形市、東北がんネットワーク、東北広域次世代がんプロ養成プラン



黄色い葉は 痛くない、切らない、簡単 の3つを表しています。

緑の葉は やさしい治療を表しています。

「Quality of life」というコピーは、

放射線治療が QOL (Quality of life) の向上に大きく寄与し、
がん治療の新しい時代を切り拓いていくという決意を表しています。



公益財団法人
医用原子力技術研究振興財団

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町7-16

ニッケイビル5階

<https://www.antm.or.jp/>

ANTM



国立大学法人
山形大学

〒990-9585

山形県山形市飯田西2-2-2

山形大学医学部東日本重粒子センター

<https://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/>

山形大 重粒子



医用原子力技術研究振興財団 及び 山形大学医学部東日本重粒子センターの活動については、
ホームページからご確認いただけます。

開催にあたって

山形大学は、北日本唯一の重粒子線治療施設として、医学部東日本重粒子センターを開設し、令和2年2月に前立腺癌の治療を開始しました。以後少しずつ治療の対象を拡大し、令和4年10月以降、眼球を除く全ての対象疾患に対する重粒子線治療を実施しています。大学病院と連絡橋で直接結ばれており、総合病院の医療資源をフルに活用できること、および患者さんを傾けずに重粒子線をどの方向からでも照射できることが同センターの特長です。これら両方を併せ持った重粒子線治療施設は世界でもここだけであり、こうした点が患者さんや医療関係者から高く評価されています。

医用原子力技術研究振興財団（医用原子力財団）は、加速器等から発生する粒子線等による先端のがん治療をはじめとする各種放射線による疾病の治療ならびに診断等、放射線利用技術の研究を推進するとともに、その普及を図ることにより、科学技術の振興を図り、もって人類の福祉向上に寄与することを目的として、各種事業を展開しております。このための一環として、医用原子力財団では、「人にやさしいがんの放射線治療」を基本テーマとして、放射線利用技術が診断・治療等のさまざまな医療の現場で活用され、役立っていることを、広くわかりやすく一般の方々へご紹介し、国民生活に身近で、貢献度の高いものであることをご理解いただくことを内容とする「公開講演会」を毎年各地で開催しています。

第20回目となる今回は、山形市において「重粒子線がん治療の実際と今後の可能性」をテーマとして、山形大学（医学部東日本重粒子センター）における最新の治療の状況や取組み等についてご紹介させていただきます。この公開講演会を通じて、重粒子線がん治療および同治療に取り組んでいる山形大学について、山形県および周辺地域のみならず東北地方・新潟県・北海道はじめ全国のより多くの国民の皆さまが関心をもち、理解を深めていただくことを目指します。さらに、患者自らががんをよく知り、恐れず積極的に向き合う環境づくりを進め、広く国民全体の福祉の向上につながることを期待します。

共同主催 公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団
国立大学法人 山形大学

プログラム

日時/2024年12月15日(日)

場所/山形テルサ「テルサホール」

司会 フリーアナウンサー 佐藤 博子

13:30~13:40 開会挨拶

公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団理事長 垣添 忠生
国立大学法人 山形大学学長 玉手 英利

【第1部】 基調講演とご報告

13:40~14:10 基調講演「身近になった重粒子線治療」

山形大学医学部附属病院 放射線治療科長/教授・重粒子線治療センター長 小藤 昌志

14:10~14:20 ご報告「重粒子線がん治療の適応と東日本重粒子センターの診療実績」

山形大学医学部附属病院 放射線治療科准教授・東日本重粒子センター副センター長 佐藤 啓

【第2部】 臓器別シンポジウム「重粒子線がん治療に期待すること」

14:35~15:55

○モデレーター

山形大学医学部附属病院 第一外科長/教授・東日本重粒子センター副センター長 元井 冬彦

○シンポジスト

前立腺がん…	日本海総合病院 泌尿器科 診療部長(兼)泌尿器科部長	川村 裕子
肝 臓 がん…	山形市立病院済生館 消化器内科 主任医長	西瀬 雄子
大 腸 がん…	山形大学医学部附属病院 第一外科 助教	岡崎 慎史
婦人科がん…	山形大学医学部附属病院 産科婦人科 准教授	太田 剛
肺 がん…	山形大学医学部附属病院 第二外科 副科長・准教授	塩野 知志
頭頸部がん…	山形大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師	千田 邦明
放射線治療専門医の立場から…	山形大学医学部附属病院 放射線治療科 助教	萩原 靖倫
膵臓がん、議論のまとめ…	モデレーター	元井 冬彦

15:55~16:00 閉会挨拶

山形大学医学部長 永瀬 智

かきぞえ ただお
垣添 忠生

公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団理事長
公益財団法人 日本対がん協会会長



生年月日 1941年4月10日

出生地 大阪

略歴 1967年東京大学医学部医学科卒業。同年東京大学医学部附属病院で研修し、都立豊島病院、医療法人藤間病院外科に勤務後、1972年東京大学医学部泌尿器科文部教官助手。

この頃から膀胱がんの基礎研究に携わり、大学の勤務終了後、夜、国立がんセンター研究所に通って研究を続ける。1975年国立がんセンター病院泌尿器科に勤務し、1987年同病院手術部長、第一病棟部長、副院長を経て、1992年1月に病院長、同年7月に中央病院長、2002年4月総長に就任。2007年4月国立がんセンターを退職し、同名誉総長、財団法人日本対がん協会会長に就任。

専門は泌尿器科学だが、発がん全般、特に膀胱発がん、前立腺発がんについては今も強い関心をもっている。立場上、がんの診断、治療、予防に幅広く関わり、全がんに目配りしてきた。がん予防、がん検診、緩和医療に対する関心も強い。国立がんセンター田宮賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞、並びに瑞宝重光章などを受賞、2019年12月より日本学士院会員。

主な著書 『発がんからみた膀胱がんの臨床』（メディカル・ビュー社）
『がんと人間』（共著 岩波新書）
『患者さんと家族のためのがんの最新医療』（岩波書店）
『前立腺がんで死なないために』（中央公論社）
『妻を看取る日』（新潮社）
『悲しみの中にいるあなたへの処方箋』（新潮社）
『がんと人生』（中央公論新社）
『巡礼日記 一亡き妻と歩いた600キロ』（中央公論新社）
『カキゾエ黄門』漫遊記』（朝日新聞出版） など

たまた ひでとし
玉手 英利

国立大学法人山形大学 学長



専門

基礎生物学・生態遺伝学

学歴

1977年3月 東北大学理学部生物学科 卒業
1979年3月 東北大学大学院理学研究科博士前期課程修了
1983年3月 東北大学大学院理学研究科博士後期課程修了
理学博士（東北大学）

職歴

1983年4月 山形大学医学部助手
1989年4月 石巻専修大学助教授
1998年4月 石巻専修大学教授
2003年4月 山形大学理学部教授
2006年4月 山形大学理学部生物学科長
2008年4月 山形大学理学部副学部長・評議員
2013年4月 山形大学理学部長・評議員
2015年4月 山形大学学術研究院教授
2016年10月 山形大学小白川キャンパス長
2020年4月 山形大学長

「身近になった重粒子線治療」

講師

ことう まさし
小藤 昌志



山形大学医学部附属病院 放射線治療科長／教授・重粒子線治療センター長

専門

放射線治療

略歴

1996年3月	東北大学医学部卒
1996年4月	聖路加国際病院内科
1999年4月	東北大学病院放射線治療科
2005年1月	米国 MD Anderson Cancer Center
2007年1月	東北大学病院放射線治療科
2010年7月	量子科学技術研究開発機構(旧放射線医学総合研究所)
2020年4月	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 重粒子線治療研究部 部長
2023年4月	量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 副所長
2024年7月	現職

「重粒子線がん治療の適応と
東日本重粒子センターの診療実績」
講師



さとう ひらく
佐藤 啓

山形大学医学部附属病院 放射線治療科准教授・東日本重粒子センター副センター長

専門

前立腺がん・腎がんの重粒子線治療

学歴

2006年3月 新潟大学医学部医学科 卒業
2015年9月 新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞医学専攻 終了（博士号(医学)取得）

職歴

2006年4月 山形県立中央病院（臨床研修医）
2008年4月 山形県立中央病院 放射線科（医員）
2009年4月 新潟大学医学部 放射線医学教室（医員）
2010年4月 新潟県立新発田病院 放射線科（医員）
2011年4月 新潟大学医学部 放射線医学教室（医員）
2015年1月 新潟県立がんセンター新潟病院 放射線治療科（医長）
2016年4月 山形大学医学部 放射線腫瘍学分野（助教）
2019年1月 QST 病院(旧放射線医学総合研究所病院)治療課（出向医）
2020年4月 山形大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学分野（講師）
2023年4月 山形大学医学部 放射線医学講座 放射線腫瘍学分野（准教授）
山形大学医学部 東日本重粒子センター（副センター長）
現在に至る

「重粒子線がん治療に期待すること」
モデレーター

膵臓がん、議論のまとめ

もとい ふゆひこ
元井 冬彦



山形大学医学部附属病院 第一外科長／教授・東日本重粒子センター副センター長

専門

消化器・一般外科

略歴

1993年3月	東北大学医学部 卒業
1993年5月	大原総合病院外科 初期臨床研修
1996年4月	東北大学大学院 医学系研究科消化器外科学分野 入学
2000年3月	医学博士（東北大学大学院）取得
2001年1月	東北大学病院肝胆膵外科 医員
2001年4月	東北大学病院肝胆膵外科 助手
2002年1月	カリフォルニア大学サンフランシスコ校 研究員
2003年1月	東北大学病院肝胆膵外科 助手
2003年10月	塩竈市立病院外科 医長
2004年11月	東北大学病院肝胆膵外科 助手
2007年4月	東北大学病院肝胆膵外科 助教
2011年4月	東北大学病院肝胆膵外科 講師
2014年4月	東北大学大学院 医学系研究科消化器外科学分野 准教授
2020年3月	山形大学医学部外科学第一講座 教授（現職）
2022年4月	東日本重粒子センター 副センター長（兼務）
2023年4月	山形大学医学部附属病院 副病院長（教育・医療安全担当）（兼務）

「重粒子線がん治療に期待すること」
シンポジスト

前立腺がん

かわむら ゆうこ
川村 裕子



日本海総合病院 泌尿器科 診療部長(兼)泌尿器科部長

専門

泌尿器科

略歴

1999年3月	山形大学医学部医学科 卒業
1999年5月	山形大学医学部附属病院
1999年6月	山形県立新庄病院
2000年7月	山形済生病院
2001年6月	山形県立河北病院
2003年4月	鶴岡市立荘内病院
2004年2月	山形大学医学部附属病院
2008年4月	日本海総合病院
2010年4月	鶴岡市立荘内病院
2011年5月	みやぎ県南中核病院
2017年4月	現職

「重粒子線がん治療に期待すること」
シンポジスト

肝臓がん

にしせ ゆうこ
西瀬 雄子



山形市立病院済生館 消化器内科 主任医長

専門

消化器内科

学歴

1994年3月 山形大学医学部 卒業
2002年9月 山形大学大学院医学研究科 卒業

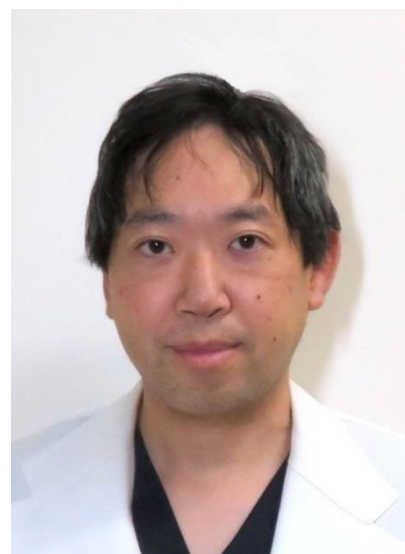
職歴

1994年5月 山形大学医学部第二内科 勤務
1994年9月 南陽市立総合病院内科 勤務
1996年10月 米沢市立病院内科 勤務
2005年4月 山形大学医学部附属病院第二内科 勤務
2015年10月 山形市立病院済生館消化器内科 勤務
現在に至る

「重粒子線がん治療に期待すること」
シンポジスト

大腸がん

おかざき しんじ
岡崎 慎史



山形大学医学部 外科学第一講座 助教

専門

大腸がんの外科治療（特にロボット、腹腔鏡を用いた手術）

略歴

2007年3月	山形大学医学部医学科 卒業
2007年4月	公立置賜総合病院 初期研修医
2009年4月	山形大学医学部 外科学第一講座 入局
2010年4月	日本海総合病院 外科
2012年4月	山形大学医学部 外科学第一講座 病院助教
2013年4月	山形市立病院済生館 外科 副医長
2015年4月	山形大学医学部 外科学第一講座 病院助教
2016年4月	山形市立病院済生館 外科 医長
2017年4月	山形大学医学部 外科学第一講座 助教
	現在に至る

専門医・資格

日本外科学会 専門医・指導医

日本内視鏡外科学会 技術認定医（大腸）

日本内視鏡外科学会 ロボット支援手術プロクター（手術指導医）（直腸）

「重粒子線がん治療に期待すること」
シンポジスト

婦人科がん

おおた つよし
太田 剛



山形大学医学部産科婦人科学講座 准教授

専門

婦人科腫瘍

学歴

2000年3月 山形大学医学部医学科卒業
2008年3月 山形大学大学院医学系研究科医学専攻卒業

職歴

2000年4月 山形大学医学部産科婦人科学講座 医員
2000年6月 山形済生病院 産婦人科医師
2002年7月 山形大学医学部産科婦人科講座 医員
2008年4月 山形大学医学部産科婦人科学講座 助教
2009年7月 米国メイヨークリニック実験病理学 研究員
2011年7月 山形大学医学部産科婦人科学講座 助教
2016年4月 山形大学医学部産婦人科 講師
2021年4月 山形大学医学部産婦人科 准教授
現在に至る

「重粒子線がん治療に期待すること」
シンポジスト

肺がん

しおの さとし
塩野 知志



山形大学医学部附属病院呼吸器外科病院教授
山形大学医学部外科学第二講座准教授

専門

呼吸器外科

略歴

1992年3月	山形大学医学部卒業
1996年3月	山形大学医学部大学院卒業
1996年4月	山形大学医学部附属病院医員
1996年6月	山形県立中央病院外科後期研修医
1998年6月	山形大学医学部附属病院医員
1998年11月	山形大学医学部第2外科助手
2001年4月	山形県立日本海病院呼吸器外科医長
2002年6月	国立がん研究センター東病院呼吸器外科がん専門修練医
2004年5月	山形県立中央病院呼吸器外科医長
2016年6月	山形県立中央病院呼吸器外科部長
2022年4月	山形大学医学部附属病院呼吸器外科病院教授・ 山形大学医学部外科学第二講座准教授

「重粒子線がん治療に期待すること」
シンポジスト

頭頸部がん

ちだ くにあき
千田 邦明



山形大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師

生年月日 昭和 54 年 7 月 25 日 生

略歴

2004 年 3 月	山形大学医学部医学科卒業
2004 年 4 月	山形県立中央病院研修医
2006 年 4 月	山形県立中央病院耳鼻咽喉科後期研修医
2007 年 4 月	山形県立新庄病院医員（耳鼻咽喉科）
2009 年 4 月	山形大学耳鼻咽喉頭頸部外科
2012 年 3 月	山形大学医学部医学系研究科博士課程医学専攻卒業
2014 年 10 月	日本海総合病院耳鼻咽喉科
2015 年 10 月	埼玉県立がんセンター頭頸部外科
2017 年 4 月	山形大学耳鼻咽喉頭頸部外科助教
2022 年 4 月	同上 講師

所属学会 日本耳鼻咽喉頭頸部外科学会（専門医・指導医）
日本頭頸部外科学会 評議員（頭頸部がん専門医・指導医）
日本頭頸部癌学会 代議員
日本内分泌外科学会
口腔咽頭科学会
耳鼻咽喉科臨床学会
日本喉頭科学会

「重粒子線がん治療に期待すること」
シンポジスト

放射線治療専門医の立場から

はぎわら やすひと
萩原 靖倫



山形大学医学部放射線医学講座放射線腫瘍学分野 助教

専門

放射線治療

略歴

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 2008年3月 | 山形大学医学部医学科 卒業 |
| 2010年3月 | 山形大学医学部附属病院 初期研修修了 |
| 2010年4月 | 山形大学医学部附属病院放射線科 医員 |
| 2013年7月 | 山形大学医学部東北未来がん医療学講座 助教 |
| 2015年4月 | 神奈川県立がんセンター 放射線腫瘍科 |
| 2017年3月 | 医学博士（山形大学大学院）取得 |
| 2018年2月 | 放射線医学総合研究所 臨床研究クラスター（現 QST 病院） |
| 2019年4月 | オーストラリア MedAustron 研究員 |
| 2020年1月 | 山形大学医学部放射線医学講座放射線腫瘍学分野 助教（現職） |

ながせ さとる
永瀬 智

山形大学医学部産科婦人科学講座教授
山形大学医学部長



専門

産科婦人科 婦人科腫瘍専門医

略歴

1991年3月	東北大学医学部卒業
1991年7月	岩手県立磐井病院産婦人科
1995年4月	東北大学病院産婦人科医員
1997年5月	東北大学病院産婦人科助手
1998年3月	医学博士（東北大学）
1998年6月	米国コロンビア大学研究員（癌遺伝学）
2001年1月	東北大学病院産婦人科助手
2001年4月	八戸市立市民病院産婦人科医長
2004年4月	宮城県立がんセンター婦人科主任医長
2005年4月	東北大学病院助教（婦人科）
2008年2月	東北大学病院講師（婦人科）
2010年4月	東北大学医学部医学系研究科 准教授
2014年11月	山形大学医学部産科婦人科学講座 教授（現職）
2016年4月	山形大学医学部附属病院副院長（2019年3月まで）
2020年10月	山形大学医学部副学部長
2024年4月	山形大学医学部長